

高校一年生「第二回全統模試」(八月実施) 練習問題

◆次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。(時間 二十分 配点 五十点)

式部の大輔大江匡衡朝臣たいふおほえのまさむらあそんの息そく、式部の権ごんの大輔孝周朝臣たかちか、重病をうけて、たのみすくなく見えければ、母注①あかぞめ赤染右衛門あそもん、住吉注②に詣でて、七日籠りて、「このたび助かりがたくは、すみやかにわが命

に召しかふべし」と申して、七日に満ちける日、御幣注③みでぐらのしでにかきつけ侍りける、

かはらんと祈る命は(惜し)でさても別れんことぞかなしき

かく詠みて奉りけるに、神感(あ)ありけん、挙周が病よくなりにつけり。母下向して、喜びながらこの様を語るに、挙周いみじく嘆きて、「我生きたりとも、母を失ひては何のいさみかあらん。」

かつは不幸の身なるべし」と思ひて、住吉に詣でて。申しけるは、「母我にかはりて命終はるべき

ならば、すみやかにものごとくわが命を召して、母を助けさせ給へ」と泣く泣く祈りければ、神

あはれみて御たすけ(あ)ありけん、母子ともに事ゆゑなく侍りけり。

注(1) 赤染右衛門：赤染衛門。平安中期の女流歌人。大江匡衡の妻、挙周の母。(2) 住吉：住吉神社(大阪府) (3) 御幣のしで：神に献上する際に用いるもの

問一 本文中の(惜し)を適する形にせよ。(三点)

問二 傍線部①②③の「ん」の文法的意味について、適するものを一つずつ選べ。同じものを何度選んでもよい。(各三点 計九点)

- 一、意志 二、推量 三、婉曲 四、適当 五、勧誘 六、命令

問三 傍線部④の本文中の意味として適するものを選択肢の中から一つずつ選べ。(各三点 計六点)

- ④たのみ 一、頼れる人 二、友人や知人 三、お願いする医者
④助かる見込み 四、祈禱してくれる人
④さても 一、どちらにしても 二、どうしても 三、かといつても
四、だれであつても 五、本当に

問四 本文中の(あ)は同じ語句が入る。適するものを次の中から一つ選べ。(四点)

- 一、ぞ 二、こそ 三、や 四、なむ 五、しも

問五 傍線部①を現代語訳せよ。(九点)

問六 傍線部②について、「たすけ」た理由とその結果を、母子の行動や思いが具体的にわかるようにして、六十字程度で説明せよ。句読点は一字に含む。(十三点)

問七 本文は「古今著聞集」の一節である。当作品とジャンルが異なるものを二つ選べ。(各三点 計六点)

- 一、沙石集 二、玉勝間 三、十訓抄 四、日本霊異記 五、宇治拾遺物語
六、陸奥話記 七、今昔物語集